

公開シンポジウム「これからの高校理科教育のありかた」の開催について

1. 主 催： 日本学術会議 科学と社会委員会 科学力増進分科会
2. 共 催： なし
3. 後 援： なし
4. 日 時： 平成28年6月4日（土） 13：00～17：30
5. 場 所： 東京大学理学部4号館2階1220号室
6. 分科会の開催： 開催予定なし
7. 開催趣旨： 2016年2月8日に発出した日本学術会議提言「これからの高校理科教育のありかた」を広く社会に発信するとともに、そのより具体的な実現に向けて、多様な立場からの議論を行う場を提供する。
8. 次 第：
 - 13:00～13:20 提言の趣旨説明
須藤 靖*（日本学術会議第三部会員、東京大学大学院理学系研究科教授）
 - 13:20～13:50 「日本理化学協会百年の理科教育への思い—理想と現実の中で
の生徒のためのよりよい教育実践を目指す道—」
菊池 正仁（日本理化学協会事務局長）
 - 13:50～14:20 「テクノロジー企業が期待する 21 世紀の理科教育」
柳原なほ子（前インテル株式会社教育・CSR プログラム推進部
部長）
 - 14:20～14:50 「教員養成学部教員として提言をこう受け止める」
富田 晃彦（和歌山大学教育学部教授）
 - 14:50～15:10 休憩
 - 15:10～15:40 「資質・能力の観点からの教育課程の構造化と理科教育」
合田 哲雄（文部科学省初等中等教育局教育課程課長）
 - 15:40～17:20 公開討論
 - 17:20～17:30 まとめ
柴田 徳思*（日本学術会議連携会員、公益社団法人日本アイ
ソトープ協会専務理事）

(*印の講演者等は、主催分科会委員)